

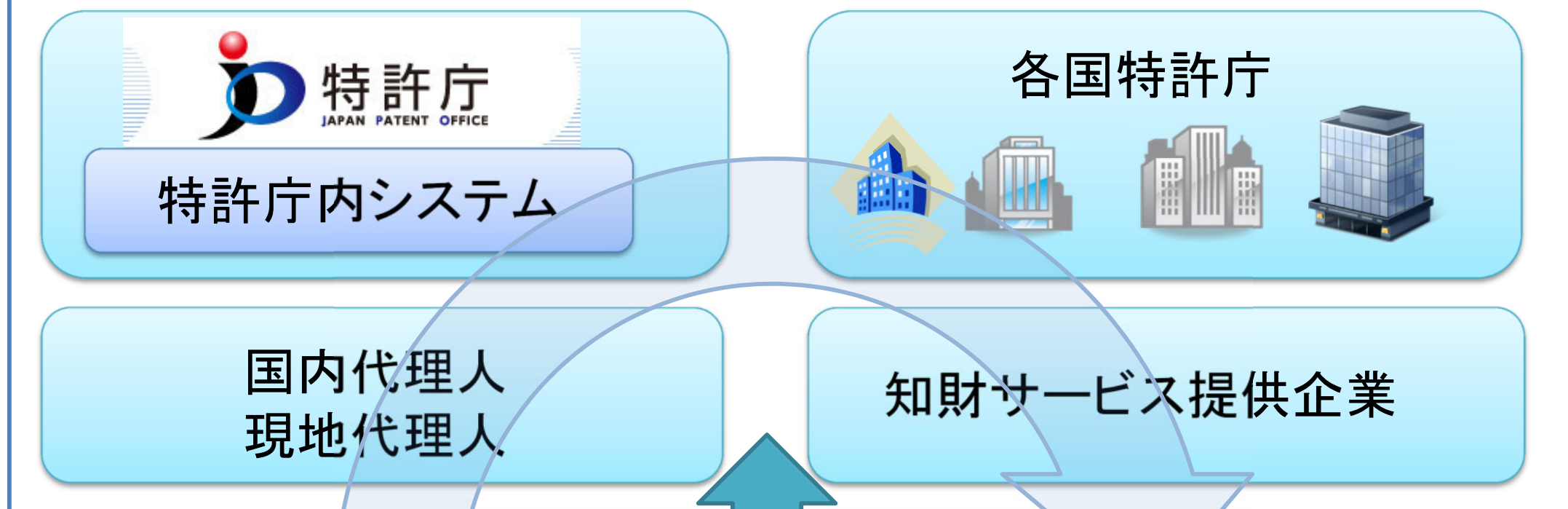
活動の目的・体制



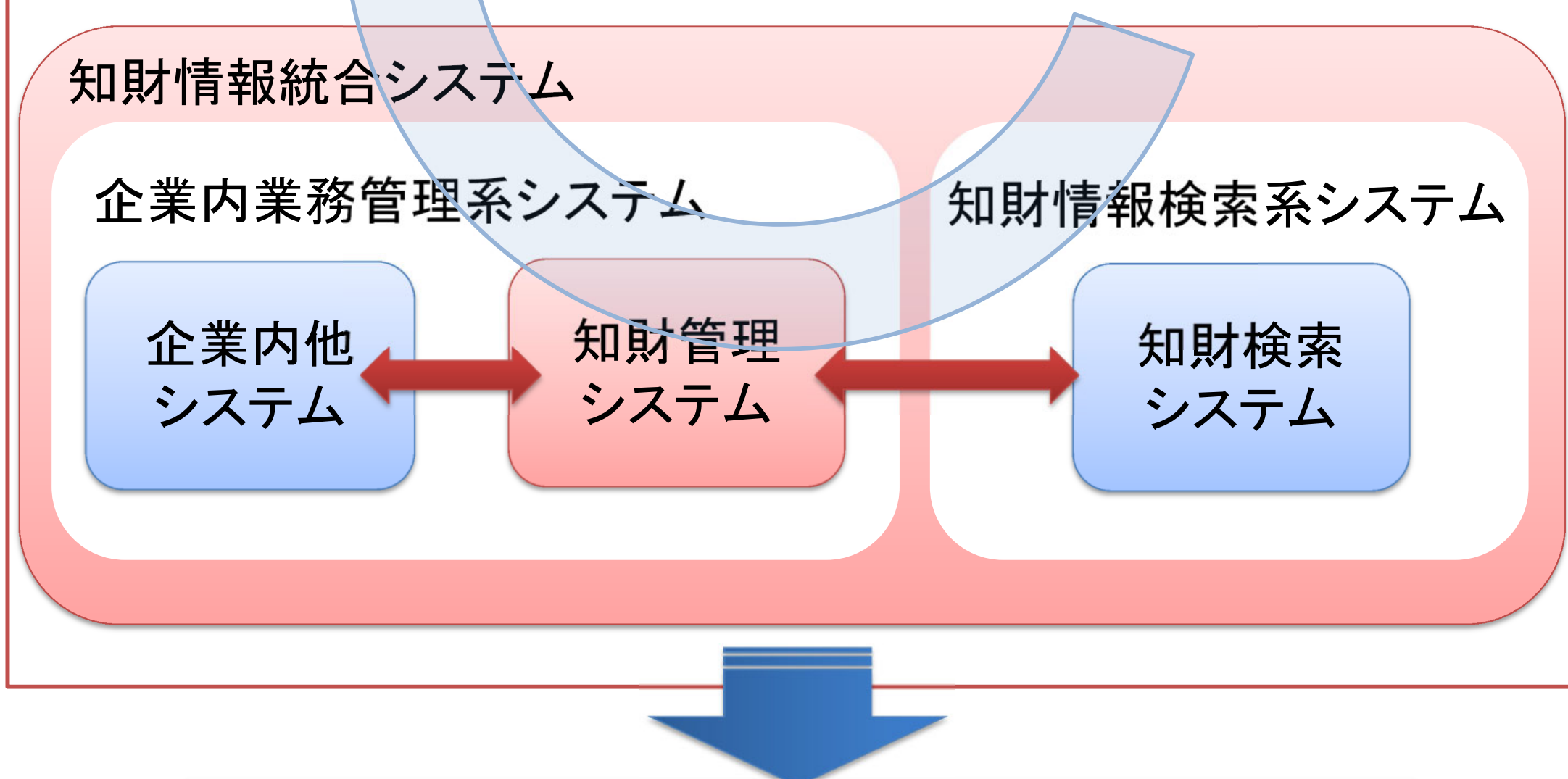
活動の目的: “経営に資する知的財産情報システムの検討と提言”

特許庁、代理人、サービス企業との電子流通の効率化検討、企業内知財管理システムの課題検討、知財管理システムの将来のあり方を検討し、世界に通じるデジタルインフォメーションサイクルを実現しようと活動しています。

企業外（第1小委員会）



企業内（第2小委員会）

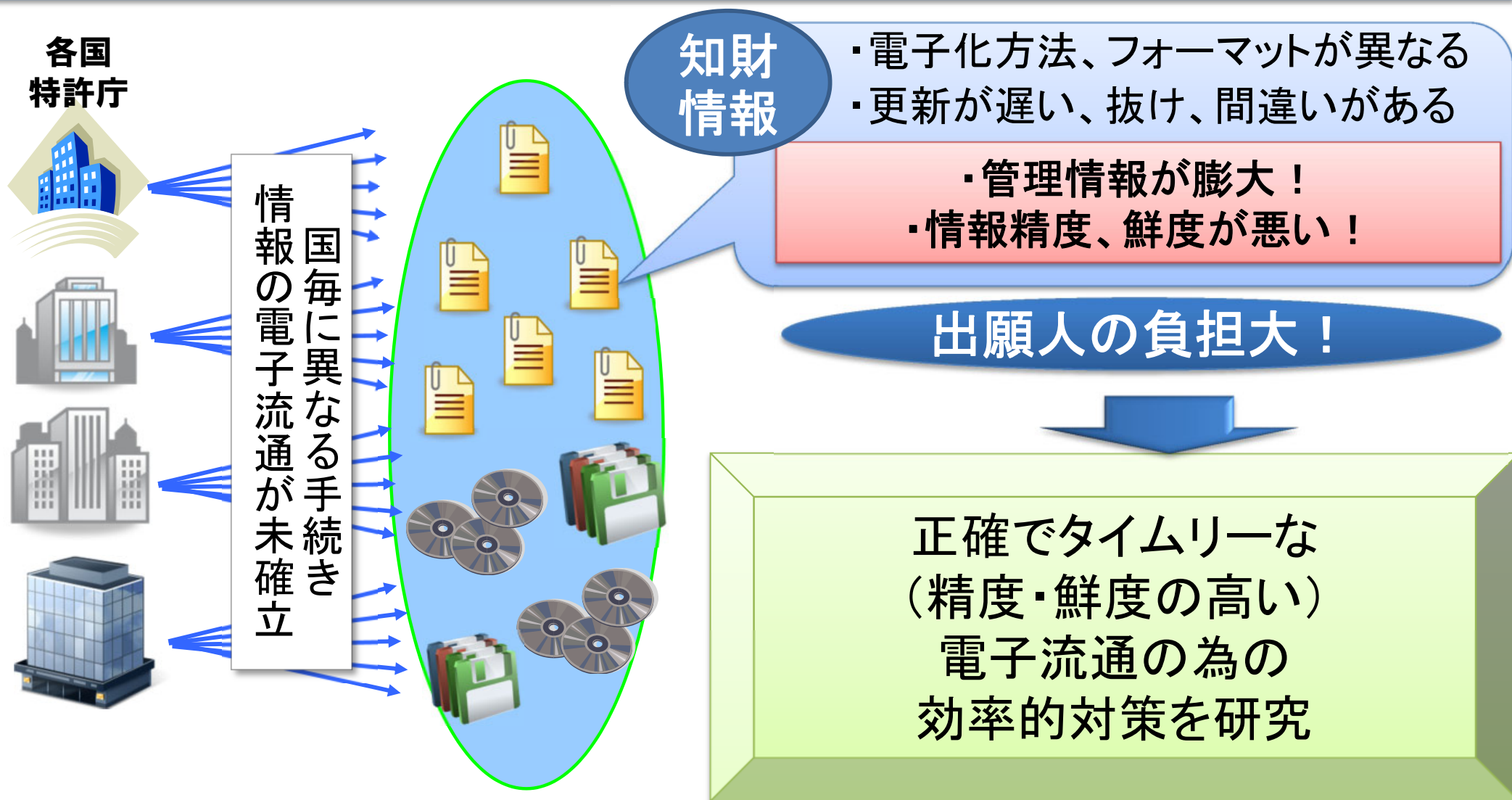


経営に資する知的財産情報システムとは？

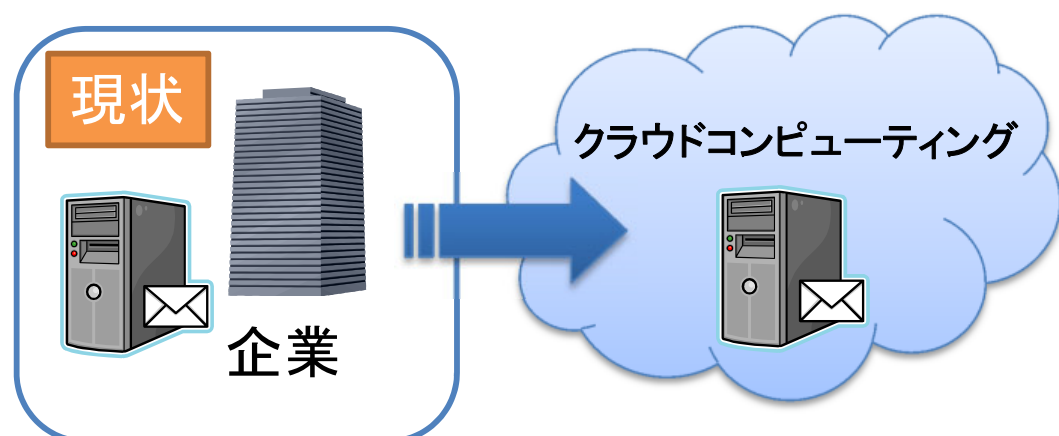
2012年度 研究テーマ（第1小委員会）



1. 電子化された知財情報の共有化（庁／代理人／出願人）によるデータ精度・鮮度向上策の研究

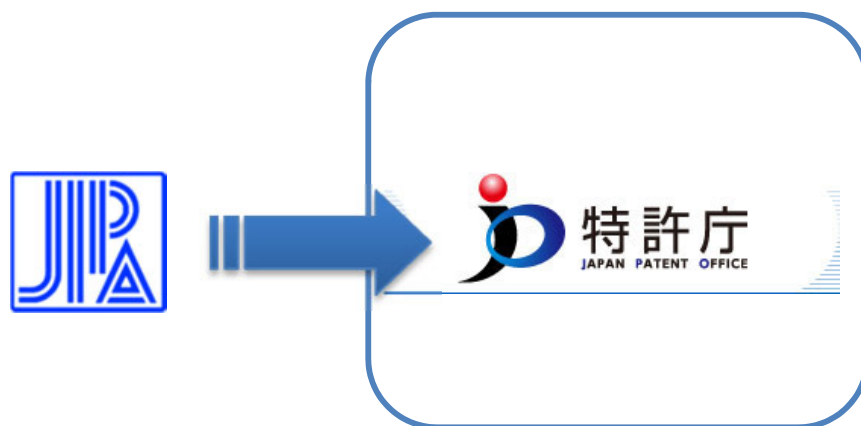


2. 知財管理にクラウド技術を適用した場合の課題の研究



社内置きの知財管理システムとクラウド技術を適用した知財管理システムとを比較
メリット・デメリットを検討

3. 特許庁最適化計画、インターネット出願ソフトに対する検討と提言



企業が必要とするシステム
やソフトを検討
特許庁に対し提案

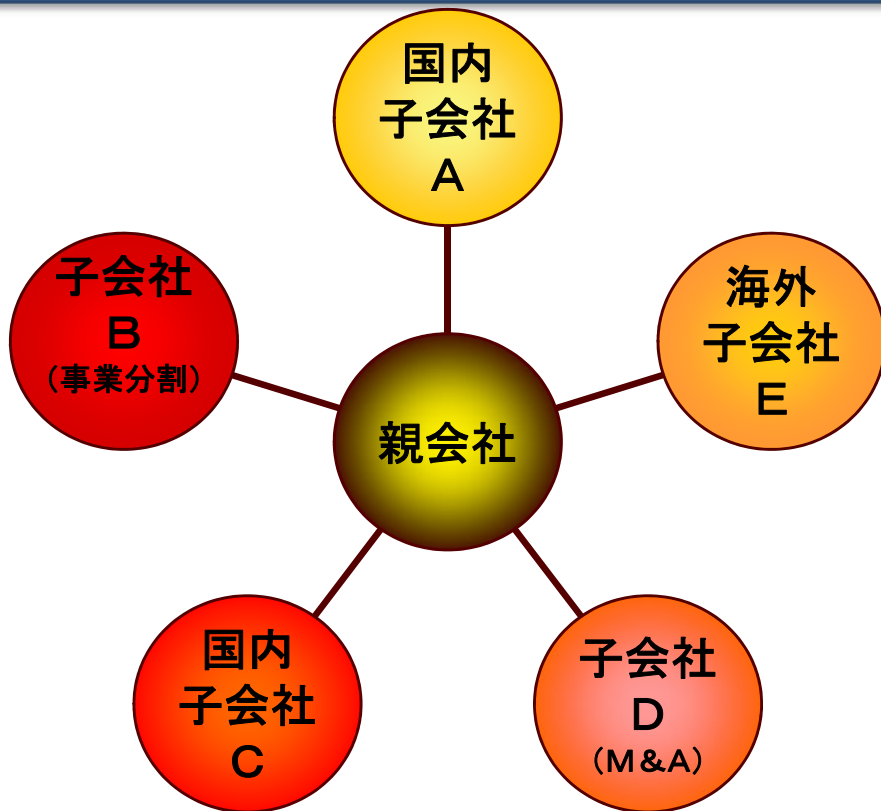
2013年3月 東西部会発表予定

2012年度 研究テーマ（第2小委員会）



4. グループ会社管理の業務課題とシステム化の検討

「グループのポートフォリオ管理」と「管理業務の効率化」が求められている



《視点》

- ①管理形態（分散 or 集中）
- ②立場（親 or 子）
- ③成り立ち（分社 or M&A）
- ④国内外子会社

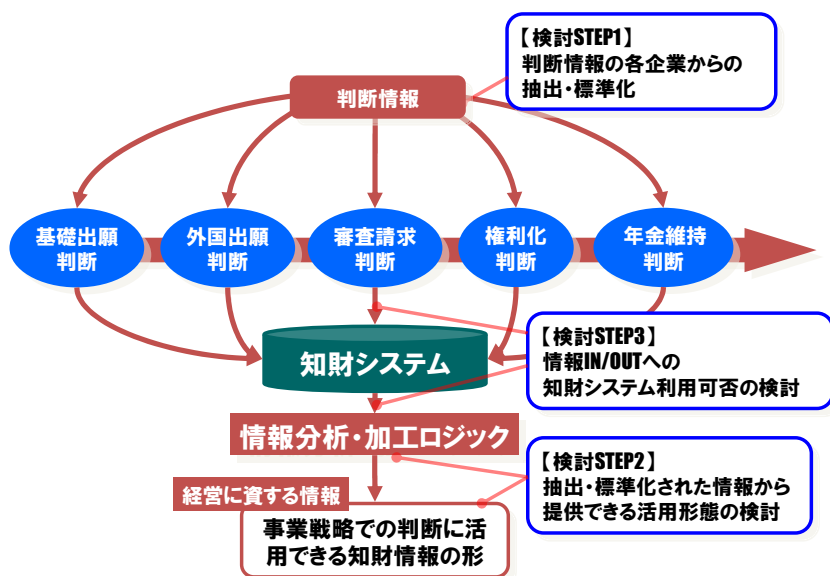


知財管理の課題と対応策を明らかに！

5. 企業活動に活用できる知財情報統合システムの検討と提言

①知財（特許）業務中の**判断情報を有効活用した**企業知財活動の指標化の検討

②各企業の組織形態に合わせた**最適な知財管理手法**の検討



お悩み解決！



台帳（紙）



アウトソーシング

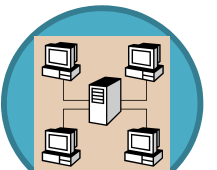
知財管理手法にはどんなものがあるの？



我社にはどんな管理手法が最適なんだろう？



市販ソフトウェア



知財管理システム

企業知財活動に役立つ
新たな指標を検討

2013年2月 東西部会発表予定

知財管理の仕組みづくりに
役立つ情報を提供

2013年2月 東西部会発表予定